

つり光

No.109 2010. 3.

発行 真言宗豊山派
北田山宝泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真琴

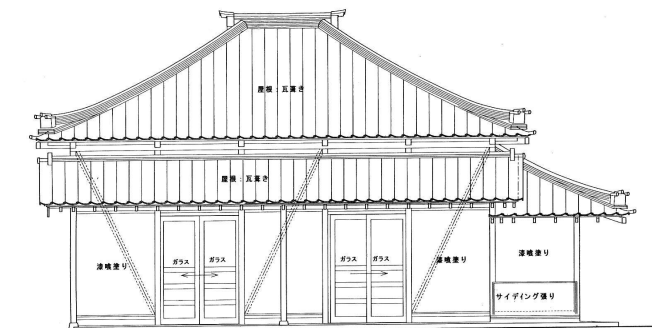
旧本堂、新機能のおお堂として

春を迎えて伝えられる気象情報によると、この冬は統計的には立派？な暖冬だったらしいのですが、とてもそうとは思えない寒さだった気がしています。雨や雪の日が多く日照に恵まれなかったかもしれません。これも温暖化現象の一つなのでしょうか。

さて旧本堂の改修工事、境内に一步足を踏み入れていただければすぐおわかりになる事ですが2月下旬からはじまりました。設計、見積もり、施工業者選定と細かな検討がなされ、工事は7月半ばを期限として「川路工務店（所沢市林）」に発注致しました。旧本堂は「新四国奥多摩八十八カ所 五十番札所、大師堂」として改修されることとなり、あわせて納骨堂、休憩所、お手洗い、水屋などを併せ持つおお堂となり皆様には便利にお使いいただけるのではと考えております。

寶泉寺は、無住の時代が長かったことと過去帳を初めとする什物は預け先のお寺様の火災で焼失してしまったことで確たる歴史はわかりません。しかし中でもただこの本堂だけは、「文政12年秋（1829年）、世話人 北田源蔵、大工 関口孫兵衛」と古い天上板にはっきりと記され年代を確定でき、両家とも現在に連なるお宅で寶泉寺を語る貴重な資料と言えます。本堂の壁や天井、床が剥がされますと想像以上のきゃしゃな骨組みがあらわになりよくぞ180年間を無事に耐えてきたものだと感心するばかりでした

存在の意味合いは変わってもこれからも寶泉寺の重要なおお堂として存続することによりうれしさを感じております。工事期間中、ご協力のほどをよろしくお願い致します。（琴）



南面、立面図

【お釈迦様の誕生日を開きます】

仏教の教えが長いこと信仰されてきたこの日本で、その仏教をお開きになったお釈迦様の誕生日を知っている人は意外と少ないようです（実をいうと私も仏教の勉強を始めた 10 年ほど前までその日を知りませんでした！）。

今でこそ話題にのぼることは少ないものの、日本では昔からお釈迦様の誕生日である 4 月 8 日に、その功德を讃えるお祝いの行事が行われてきました。これを「花まつり」と言います。

なぜ、「花まつり」と称するのかと申しますと、この時期が桜のきれいな時候だったからという単純な理由が有力のようで、浄土宗のお坊さんが明治時代に名付けたと伝えられています。「花まつり」と聞けばなんとなく暖かで良い匂いがしてくる気がしますものね。そんないい加減な！と思う方もいらっしゃるでしょうが、要はみんなでお祝いできれば名称など二の次ということなのかもしれません。

この「花まつり」。具体的には、花御堂（はなみどう）と呼ばれる小さなお堂に花を飾り、お堂の中央にはお釈迦様の稚児像（子供の姿をした像）を据え、そのお像に甘茶をそそぐという形式をとります。甘茶をそそぐといういわれは、お釈迦様がお生まれになった直後、龍神が祝福の甘い雨を降らせたという故事から来ています。ちなみにこの甘茶、単なる甘い味付けをしたお茶と誤解されたり、またはアマチャヅルと混同されたりしますが、れっきとしたアジサイのお仲間、アマチャという名前の植物から作られています。



宝泉寺では去年に続き、「花まつり」を下記の期間にわたり開催致します。期間中は皆さんには甘茶をそそいでもらうことはもちろん、甘茶や甘茶を練り込んだ甘茶クッキー（これが美味しいんです！）、そしてお抹茶などを召し上がっていただく予定であります。

また、最終日には、ささやかなものではございますがお釈迦様を讃える法要を営み、お釈迦様にまつわるご法話も行います。どうぞお散歩がてらお気軽に宝泉寺までおいでください。ゆるやかな空気の中で一緒に

お釈迦様のお誕生会を楽しみましょう！

宝泉寺花まつり

- 日時 4月8日（木）～11日（日） 午前10時～午後16時
- 会場 宝泉寺本堂
- 法要 4月11日（日） 午後2時～ 宝泉寺本堂にて
（法要が終わり次第、法話に移ります）
- 参加費 無料
- 対象者 興味のある方なら宗派問わずどなたでも

※ 基本的に期間中は住職か副住職が本堂に常駐していますが、9日の午後のみ所用のため本堂を空けることが多くなります（本堂は開放しておりますのでご自由にお参りください）

【お彼岸です】

「暑さ寒さも彼岸まで」。春の訪れとともにお彼岸の時期がやってきました。最近、ある著名なお坊さんが、「お彼岸というのは、言ってみれば仏教強化週間だよ」とおっしゃっていたのを聞いてなるほどな～と思いました。昨今、お彼岸は、お盆と同じようにご先祖様に感謝する期間というイメージが定着していますが、それと同時に六波羅蜜（ろくはらみつ）と呼ばれる私たちが修めるべき6つの課題を見直し、改めて実践に励もうという趣旨もあります。

六波羅蜜はひとまず置いておくとしても、仏教強化週間という点はかえりみる価値があるかもしれません。そこで提案です。お彼岸の時期にお参りに来られましたらどうぞ一番はじめに本堂にお参りください。階段を上がるのが大変ならば階段の下からでも結構です。そして、なぜこの本堂は建てられたのか。どんな気持ちで昔の人はここにお薬師様を本尊としてまつたのか。お堂の中にいる閻魔様って怖いお顔をしているけど、厳しくて優しくったおじいちゃんみたいだな。そんなことを考えてみてはどうでしょうか。

紛れもなくここ宝泉寺をお守りになっている主は本尊薬師如来様です。皆様のご先祖様もご本尊に守られています。どうぞ皆さん、たくさんのお願いとご報告を、この機会にお薬師様にお伝えください。

【塔婆料改訂のお願い】

新年度（4月）より塔婆料を3,000円から3,500円に改訂させていただきたく存じます。また、今回の改訂では、3,500円のうち300円を「あしなが育英会」に寄付させていただくことに致します。

「あしなが育英会」とは、様々な事情で親を亡くした子供たちに教育資金を提供しているNPO法人で、全てが寄付で運営されています。日本には親を亡くした途端に猛烈な逆境にさらされる現実があります。世界中に困っている人はたくさんおりますが、まずは国内に目を向けてみようという発想と、今後日本を担う中心となる子供たちに役立てたいという考えから寄付先を「あしなが育英会」と決めました。

もちろん皆さんに戴いたご寄付は、今後定期的に集計したものをるり光等でご報告いたします。

どうぞご了承のほどよろしくお願い致します（了）

NPO 法人

颯の扉 バザー

3月20日（土）

10時～3時半

宝泉寺境内

いつもご協力を頂きありがとうございます。今回は年間事業との兼ね合いもあり土曜日の開催となりました。よろしくお願い致します。

第12回 大般若会（だいはんにゃえ）

5月29日（第5土曜日）午後2時 の予定です。

編集後記

- ・旧本堂はいつも150年とと思っていたのだが実は180年、そう住職歴30年を加算せずに晋山した時のままで記憶が染み付いていた。
- ・今月13日は当地区中学校の卒業式、法事の席からの帰り、車から降りたところでお泊まり会なじみの卒業生と、おめでとう、ナミダ出た？ウン。笑顔が良かった、この感激忘れるなよと独り言。
- ・ピーンポーン、玄関に出てみると中学生。「お泊まり会できなくなっち

やうの？」「大丈夫だよ。」と小僧。旧本堂改修工事を見て、無くなってしまふのかと心配になったとのこと、実は副住職と、今年はどうやろうかと思案中。

- ・パラリンピック開催中。20年も前の事、初フルマラソン、伴走者と一緒の視覚障害者としてしばらく併走、なぜかナミダがこぼれ止まらなかった。まだ若かった頃の思い出。テレビ映像を見るたびに鮮やかによみがえる。

Mar.16.2010（琴）